

令和3年2月24日

各位

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門  
食料化学工学講座 食品分析学分野  
准教授候補者選考委員会委員長  
竹川 薫

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門  
食料化学工学講座 食品分析学分野  
准教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり生命機能科学部門 食料化学工学講座 食品分析学分野  
准教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますよ  
うお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

准教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する准教授は、大学院農学研究院・生命機能科学部門・食料化学工学講座に所属し、  
大学院生物資源環境科学府・生命機能科学専攻・食料化学工学教育コース、および農学部・応  
用生物科学コース・食糧化学工学分野を担当する教員となります。

食料化学工学講座は、栄養化学分野、食糧化学分野、食品分析学分野、食品衛生化学分野、  
食品製造工学分野の5つの分野からなります。

当該講座は生命科学を基盤としたバイオサイエンスおよびバイオテクノロジーを駆使して、  
食料、健康、医薬、資源に関する諸問題への寄与を通じて、豊かな未来を築く食科学の進歩に  
貢献することを目的としています。具体的には、食品機能の分子・細胞・個体レベルでの解析、  
機能因子の動的解析と反応制御、生産・品質・機能に関わる評価計測系の開発、新規加工技術  
の開発と品質因子の制御、食品および材料の安全性・健全性・完全性の保持と改善など食品に  
関する先端的な教育研究を行っています。

特に、食品分析学分野では、食品品質評価のための分析化学に関する教育と先進的研究を行  
っています。当該講座の教育研究を達成するためには、上記の目的に寄与する食品分析学に関  
する先端領域への展開が不可欠であります。今回採用する准教授としては、

- 1) 食品品質評価のための分析法の高度化に関する研究
- 2) 食品成分の体内利用性評価のための分析化学的研究

等を推進するために、食品分析学分野における専門的な知識と卓越した研究業績を有し、旺盛  
な研究発信ならびに、先進的な教育研究を推進できる能力を有する方を求めています。

3. 採用予定時期

令和3年10月1日（予定）

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域において優れた業績と該博な識見を有し、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方

5. 担当授業科目

（1）大学院

・ 修士課程

（生命機能科学専攻食料化学工学教育コース）

食品機能学特論，機能構造解析学特論，食料化学工学プロジェクト演習，食料化学工学演習第一，同第二，食料化学工学ティーチング演習，演示技法 I，同 II，インターンシップ，国際交流演習 I，同 II，同 III，同 IV，食料化学工学特別研究第一，同第二等

（国際コース）

フードサイエンス・フードシステム論，特別演習 I，同 II，ティーチング演習，演示技法 I，同 II，インターンシップ，修士論文研究 I，同 II 等

・ 博士後期課程

（生命機能科学専攻食料化学工学教育コース）

食料化学工学特別実験，ティーチング演習，国際演示技法，インターンシップ，プロジェクト演習，国際交流演習 I，同 II，同 III，同 IV，食料化学工学特別講究，食料化学工学特別演習等

（国際コース）

食料化学工学特別実験，ティーチング演習，演示技法 I，同 II，国際演示技法，インターンシップ，プロジェクト演習，食料化学工学特別講究，食料化学工学特別演習等

（2）学部

（応用生物科学コース食糧化学工学分野）

食品工業分析学，分析化学 II，食品品質学，分析化学実験，食品分析学実験，実地見学，科学英語，卒業研究等

（国際コース）

Food Science 等

（担当可能な基幹教育科目）

基幹教育セミナー，課題協学科目，自然科学総合実験等

注：必ず英語での講義も担当していただきます

6. 提出書類（書類の（1）と（2）は下記 URL の様式を用いて作成願います）

（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/template/>）

（1）略歴書

（2）業績目録（新しい順に記載）

- I. 原著論文：著者名（本人の氏名に下線を，また責任著者に\*を記すこと），題名，掲載雑誌名，巻，頁，発行年，最新の IF と被引用数を(i) 査読付き雑誌，(ii) 査読なし雑誌，(iii) その他，で区分して記載すること

- II. 著書：著者名，題名，発行所，発行年
- III. 総説・解説等：著者名，題名，掲載雑誌名，巻，頁，発行年
- IV. 特許：発明者名，発明の名称，特許番号もしくは特許出願番号，特許登録もしくは特許出願年月
- V. 学会等での受賞：受賞者名，賞の名称，受賞内容，学会名，受賞年月
- VI. 国際学会等招待講演：講演者名，講演題目，講演学会名，講演年月
- VII. 外部資金（科研費を含む）導入実績：名称，研究課題名，期間，金額，代表・分担の別
- VIII. 教育実績：担当授業・実習科目 等
- IX. 社会貢献等の実績
- X. 推薦者（応募者の教育研究に関して問い合わせのできる方）3名の氏名および連絡先
- XI. その他：資格等

(3) これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負（1，000字程度）

(4) これまでの教育の概要と今後の教育に関する抱負（1，000字程度）  
（教育実績のない場合は今後の抱負）

(5) 主要論文の別刷りのPDFファイル（5編）

#### 7. 面接等

審査の過程でプレゼンテーションおよび面接を行います。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。また，オンライン面接による選考を行う場合があります。

#### 8. 勤務地

伊都キャンパス（福岡市西区元岡744番地）

#### 9. 提出締切

令和3年4月30日（金）正午必着

九州大学ファイル共有システム（Proself）によるアップロード提出：上記（1）～（5）のPDF化した書類を提出締切日までにアップロードのこと

#### 10. 書類の提出

九州大学ファイル共有システム（Proself）によるアップロード：

応募書類のデータは，下記提出フォルダにアップロードしてください（提出されるファイル名には氏名を明記願います）

<https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/public/VXHEgASJbEEA1PQBHG13zbyVezOuRGK6UQ5ZQ6zLf9I>

※ドラッグして「アップロード」をクリックするとファイルを提出いただけます（パスワードは不要です）。複数の書類は個々の書類としてアップロードせずに，必ずzip形式等でまとめて提出してください。なお，食品分析学分野 准教授候補者選考委員会選考委員長 竹川 薫 E-mail: takegawa.kaoru.919@m.kyushu-u.ac.jp に，アップロード提出した旨をメールで連絡すること

#### 11. 問い合わせ

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門 食料化学工学講座  
食品分析学分野 准教授候補者選考委員会

委員長 竹川 薫

E-mail: takegawa.kaoru.919@m.kyushu-u.ac.jp

電話：092-802-4732

#### 12. 労働条件等について

- (1) 業務内容：九州大学大学院農学研究院における教育・研究
- (2) 雇用期間：期間の定めなし
- (3) 試用期間：試用期間あり（3か月）
- (4) 就業場所：九州大学大学院農学研究院（福岡市西区元岡744）
- (5) 就業時間、休憩時間、時間外労働：  
専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます
- (6) 休日：土、日、祝日、12/29～1/3
- (7) 賃金：年俸制（令和2年4月1日導入の年俸制）  
なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します
- (8) 加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金
- (9) 募集者の氏名又は名称：九州大学大学院農学研究院

#### 13. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います
- (2) 九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います
- (3) 九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています
- (4) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページ（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>）を参照してください
- (5) 送付された資料は返却いたしません、選考以外の目的には使用しません
- (6) 労働条件、その他勤務に関する詳細についての問い合わせ先：  
九州大学農学部総務課庶務係 電話：092-802-4505